

単元名：

「これからの食糧生産と私たち」

(全5時間扱い中 第4時)

授業日時 2021年11月8日(月) 第4校時

授業学級 5年西組

授業会場 5年西組教室

授業者

指導者

(1) 主眼 (授業の手立て&ねらい)

(○○の子ども達が) ○○の場面で、○○を通して、○○を□□することができる/できるようになる。

日本の食料自給率をあげるためにどんなことができるか考える場面で、日本で行われる取り組みについて紹介されている資料について班で話し合い、共有することを通して、それらの取り組みが日本の食料生産にどのような効果があるか多様な観点から考えることができる。

(2) 展開

	学習活動	予想される子どもの反応	「授業者の主な発問」・※留意点・【教材】	時間
導入	1. 前時の行ってきたことの確認と授業の準備	「トレーサビリティとかやったな」	「今日はクロームを使うので、机の上に用意して、クラスルームに入ってください。入った人は、クロームを閉じてください。」 「前時の授業では食料の安全・安心について扱いました。今回は食料生産のいろいろな取り組みについて皆さんと一緒に見ていこうと思います。」 【教科書 P123、クローム】	5
	2. 新たな取り組みの紹介	「こんな取り組みがあるんだ。しらなかつたな。」	「教科書 p123 ページを開いてください。今回は十三湖の取り組みについて授業で取り扱います。」 「この取り組みは誰にとってどんな効果があるのでしょうか？個人で考えてみましょう」	2
【学習課題】 食料生産の新たな取り組みがどのような効果があるのか班で話し合っ、考えよう。				

展開	3. 新たな取り組みが誰にとってどんな効果があるか個人で考える。	「いろいろな人に漁業について知ってもらえる」 「しじみの産地であることを知ってもらい、地産地消につなげる」 「漁業の仕事に就く人の窓口を広くする」	「この取り組みは誰にとってどんな効果があるのでしょうか？個人で考えてみましょう」	10
	4. 3で考えたことを班で共有してスライドにまとめる。	「シジミを漁師が増えれば、消費者は安定してシジミを食べることができる」 「水産資源をこれからもずっと守っていきける」	「2で考えたことを班の中で話し合っ て、スライドにまとめてみましょう。各 班役割分担（記録、司会）をしてくださ い。」 ※「多様な観点」に少し迷っている班が 見られた場合は、消費者と生産者の観点 で考えてみるようサポートする。	10
	4. 他の班のスライドを見て、取り入れる		「十三湖の活動は日本の食料生産にど んな効果があるのでしょうか。それぞれの 班のスライドを各自で見てください。」	10
【本時の評価（評価する対象）】 授業で紹介された取り組みが日本の食料生産にどんな効果があるか多様な観点から考えることができる。（google slide、 振り返りフォーム）				
終末	5. まとめと振り返り	「今日紹介された食料生産みたいな事例がこれからどんどんふえてけばいいな」	「今日は食料生産の新たな取り組みをみんなと一緒に考えてきました。十三湖の取り組みは様々な人にとって良いところがありましたね。それでは振り返りを google form に記入してください。」	10

【資料】 Google slide（まとめスライド）

Google form（振り返りフォーム）
